

2020 年 11 月 11 日

横浜ゴムの ADVAN レーシングタイヤ装着車が SUPER GT 第 7 戦 GT300 クラスで表彰台を独占

横浜ゴム（株）の ADVAN レーシングタイヤ装着車が 2020 年 11 月 7 日から 8 日にツインリンクもてぎ（栃木県）で開催された国内最高峰のツーリングカーレース「2020 AUTOBACS SUPER GT」第 7 戦の GT300 クラスで表彰台を独占しました。なお、ヨコハマタイヤ勢の優勝は第 2 戦、第 5 戦、第 6 戦に続き今シーズン 4 回目となります。

優勝は KONDO RACING の「リアライズ 日産自動車大学校 GT-R（藤波清斗選手／ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手）」、2 位は GOODSMILE RACING & TeamUKYO の「グッドスマイル 初音ミク AMG（谷口信輝選手／片岡龍也選手）」、3 位は TOMEI SPORTS の「RUNUP RIVAUX GT-R（青木孝行選手／大滝拓也選手）」が獲得しました。23 周目にセーフティーカーが導入される荒れた展開の中、全車がドライバー交代を終えた後は「リアライズ 日産自動車大学校 GT-R」と「グッドスマイル 初音ミク AMG」の 2 台が熾烈なトップ争いを展開。32 周目で「リアライズ 日産自動車大学校 GT-R」がトップに躍り出ると、そのまま逃げ切りチェッカーフラッグを受けました。「RUNUP RIVAUX GT-R」は、最終ラップで 3 位に浮上しゴールしました。

「リアライズ 日産自動車大学校 GT-R」は第 5 戦の GT300 クラスでの優勝に続き今シーズン 2 勝目を飾り、ドライバーランキング、チームランキングともにトップで 11 月末の最終戦を迎えます。「グッドスマイル 初音ミク AMG」は第 6 戦に続き 2 度目、「RUNUP RIVAUX GT-R」は今シーズン初の表彰台を獲得しました。

横浜ゴムは中期経営計画「グランドデザイン 2020（GD2020）」の技術戦略において、モータースポーツ活動を重要な先行技術開発の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまで国内外の多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦しています。2020 年の SUPER GT において、GT300 では計 20 台、GT500 では 3 台にタイヤを供給しているほか、海外でも幅広いカテゴリーをサポートし、モータースポーツの普及に努めています。今後もモータースポーツ活動に積極的に取り組み、最高レベルの技術を追求していきます。



表彰台を独占したヨコハマタイヤ勢
左から片岡選手と谷口選手（2 位）、藤波選手とジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手（優勝）、
青木選手と大滝選手（3 位）



第 7 戦の GT300 クラスで優勝した「リアルイズ 日産自動車大学校 GT-R」



第 7 戦の GT300 クラスで 2 位となった「グッドスマイル 初音ミク AMG」



第 7 戦の GT300 クラスで 3 位となった「RUNUP RIVAUX GT-R」

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570